

\*動画の処理をどうがんばるか？

副会長 浪崎一彦

最近のパソコンはCPUの処理スピードやハードディスクの容量が、私や教え子の庄司氏（もう彼も1児のパパだし会社の経営者なので「くん」では失礼なので今回から呼称が変更になりました（^^;））が世間の先取りをして（人柱ともいう）動画の処理に熱心に取り組んでいた（はまっていたともいう）9年ほど前とは格段に違うので、パソコンを使った動画の処理などは、すでに多くの方が経験されているとは思いますが、ではなぜそんな陳腐な話題を取り上げたのかといいますと、休日になにげなくテレビを見ながらネットの情報を見ていたら、Link Theaterなるものが目にとりまき、早速使ってみることにしました。

余談ではありますが、ちなみに私のメインマシンはもう8年ぐらい前からテレパソになってはいますが、やはり1台のマシンでネットの閲覧をしながら同時にテレビを見るというのは案外不都合なことが多く、やはり餅は餅屋の例え通り（昔の人は本当に真実を的確に捉えていますね（^^;））テレビはテレビ専用機（??）



にまかせているので、テレパソとして使用するのは年に数回なので、時々テレパソであったことを忘れてもします（^^;）。

Link Theaterに興味を抱いたのは、どうもパソコンは必要とせずこれ単体でMpeg1、Mpeg4、AVI、WMV、DivXなどの動画ファイルをごく普通のテレビに映すことができ、しかもLAN対応とこのうたい文句につられたからです。

数年前からもうパソコンは完全に家電化しているし、学校のコンピューター関係の予算もSky Menuのような必要不可欠なものまでカットされるという悲惨な状況に陥っているし、我々の給料も下がる一方だし、将来への不安もあるし……という非常にお寒い状況の中で、私自身、正直言ってもうパソコンなんかにお金をかけたくないと強く思いはじめていた矢先に、低価格でパソコンなしに動画を扱えるという商品は、かなり魅力的に映りました。

さっそく購入、テストしてみましたが、私の操作の不慣れもあるかも知れませんが

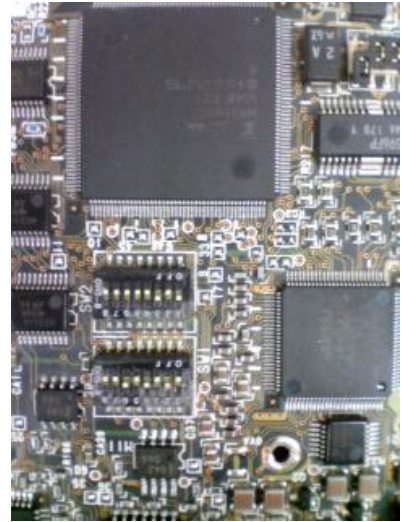
が、いくつか問題点が見つっています。

まず、LAN対応が災いしているのか、もともとLAN接続を大前提としているせいかはわかりませんが、単体で使おうとすると、USBにつないだメモリのデータを選択できるようになるまでに結構時間がかかります。

これはデフォルトでLANへの接続をまず確認するためですが、単体で使うことも多いので、接続確認をあとで手動にて行えないか今確認中です。

せっかくUSBメモリとかが使えるので、パッとつないで、パッと見られないと、結構悲しいものがありますので。

また、リモコンで早送りができるようにはなっているのですが、今のところいろいろやってみてはありますが、一定のスピード（しかも結構遅い）でしか早送りができないみたいなのと、パソコン上でこれらの動画ファイルを早送りするときはマウスでタブを掴んで結構自由に見たいところへ持って行くことができ、授業で使うときなどは、必要な部分をすぐに見せることができ大変便利なのですが、このリモコンでは最初から何分ぐらいという時間入力もできず、ひたすら一定のスピードで早送りということになってしまいそうです。



あと、実は同じMpeg1と言ってもフレームレートや何やらの違いがあり、私も庄司氏ほど詳しくないので、わからないことが多いのですが、以前このComputer Waveでも紹介したVideo SphinX Proというお手軽、低価格（1998年当時としては（当時実売価格約50000円也）の変換アダプターを使って圧縮変換したVideo CDを再生してみたところ、見事に再生できて喜んだのはつかの間、ちょっと早送りしてみたら……お池にはまってさあ大変（^^;）。微妙に音声と映像がずれて、とても見られたものではありませんでした。

また高圧縮の割に高画質が売りのMpeg4ですが、これも拡張子がMpeg4の一種であるはずのASFという超薄型デジカメ（前号で紹介したラジコン機ナイトメアに搭載して空撮可能）で撮影した空撮画像をそのまま、あるいは拡張子を変えただけというお手軽変換（??）では映像を表示することはできませんでした。

現在、動画の形式をお手軽に変換してくれるソフトを物色中ですが、学校で正規ルートできちんと購入できるものがなかなか見つからず往生しているところです。

特に有名で一般に普及している映像処理ソフトの中には、やたらと時間のかかるものも存在しますので……。

約10年のブランクを経て久々に真剣に動画処理と格闘してみて、びっくりしたのは、格段にCPUなどのハード面の処理速度は上がっているのに、わずか数分の動画処理にびっくりするほど時間がかかることです(^^;)。

そういえばその昔、動画処理に熱をあげていた庄司氏はSCSI接続のHDDにかなりこだわっていたことを思い出し、10年前とHDDの回転数や動作速度は動画処理をすばやく行える(少なくとも一般の人が「すばやい」と思える)までには劇的には進歩していないからなのかも知れません。

今までのテストの結果ではどうもDivX形式の映像と一番相性がいいように思えます。

画質もいいし、早送りなども今のところ、すばやくジャンプできない以外全く問題なしです。

ここで一つ問題になるのが、ごく一般的な有名なビデオ編集ソフトでDivXをデフォルトで完全サポートしているソフトが見あたらないことです(^^;)。

現在検索中ですが、学校の予算で購入可能ないいものが見つかることを夢見ている今日このごろです。

一見サポートしているように見えるソフトでもコーデックが入っていなかったりするるので、要注意です。

ネットでクレジットカードを使用すれば、DivXの編集ソフトをもちろんコーデック付きで本家本元から購入できますが、ネットでのクレジット決済という、そんな恐ろしいことは小心者の私には到底できませんし、公費での購入がとても難しいことになるので……。



卒業生のI氏(こちらも2児のパパになりました(^^))がDivXをハードウェア・エンコード可能なPlextorのボードを購入したというので、直接聞いてみたところ、画質がとても見るにたえないということだったので、合法的に気持ちよくDivXを使用するためには多くの障害がまだあるようです。

私自身、DivX の存在を初めて知ったのは、確か庄司氏からずいぶん前に教わったような気がしますが、ぐっと身近に感じたのは5年ほど前に部活の生徒が何気なく活動時間中に部のパソコンで映画を見ていた時でした。

最初はレンタルの DVD でも見ているのかと思っていたのですが、何とトレイから排出されたのは CD-R !!!

え!?!?!? という感じは今でも鮮明に覚えています (^ ^)。

それまで庄司氏に教わった常識では、画質を上げるためには圧縮率を下げるという鉄則があり、高画質の Mpeg1 だと CD-R には どうがんばっても 10 分～20 分の動画を入れるのが精一杯というものだったのに、その生徒 (これからの期待の星の一人ですが、まだ未成年なので名前は伏せておきます (^ ^ ;)) の取り出した CD-R には 2 時間あまりの映画がまるごと入っていたのです!!!!

それも本物の DVD と普通の人ならばまず見分けがつかない画質で!!!

DivX の大変優れた映像圧縮技術には感動すら覚えました。

さらにこのあたりの技術とネットの高速回線が充実、一般化すれば、レンタルビデオ店は間違いなく消え去るか、その業務形態をすべてネットに移行せざるを得ないのではないかと、その当時真剣に考えたのでした。

で、その当時 (5 年ほど前)、I 氏とこれからのビジネスチャンスじゃないかなとネット上でのテレビ電話で話をしていたんですが、I 氏曰く、「配信されるデジタルデータはどんなにガードを固めても結局はコピーされてしまう。そういうものに正規のお金を払う人がどれくらいこの日本にいるんですかね？」というさめた (ある意味的を射た) コメントが返ってきて、「うーん。」と唸ってしまいました。が、昨今の YouTube のブームを見ると何をか言わんやです (^ ^ ;)。

ともあれ、学校における Link Theater の将来性については間違いなくあると思います。なぜならネットデーによってすべての横浜市内の学校は各教室に LAN の配線は行われつつあるので、消耗品でも購入できるこの装置は全ての教室に配備が簡単に行えるからです。もちろん教育再生を予算面でも発揮してくれるならば (ととてもとても期待しますが (^ ^)) 欧米のように (欧



米か!??) 各普通教室にパソコンを常備することが大変望ましいと思いますが、現状では夢のまた夢なので、そうなるにせよLAN配線の有効活用から考えて、Link Theaterのような機器の利用が現実的だと思われるからです。

私もそれなりにラジコン機を飛ばすことができるようになり、最近はややパソコンにはお金を回せない(回す気も薄れた)のでまだ未確認ではありますが、ここ数ヶ月の間に秋葉原のあちらこちらでLink Theaterの類似品が半額以下の値段で大量に出回っているのも、もし興味のある方はサイフと相談の上、ぜひお試し下さい。

外見から見た感じでは結構性能がよさそうです。今までの経験からいってもこの手の商品は有名メーカーの製品でなくても(場合によっては有名メーカーの製品よりも)案外すばらしい性能を有しているものです。

早送りがパッとできることさえ確実に確認できれば私も買ってみたいのですが、そこはそれ秋葉原のお買い物、売っている店員のその手の商品に対する知識はすこぶるお粗末で、言ってみれば「当てくじ」のノリで買ってみるしかありません(^^;)。

ただ、ここ10年あまり特に悲しいのは、かつて高級機器メーカーでならしていたメーカー(Plextorやナカミチなど)がほぼ例外なく価格競争に巻き込まれ、アジア製の安物ブランドみたいに地に落ちているのが目につくことです。

市場原理、企業努力などというお題目は確かにわからないでもないですが、それらのお題目のもとに消えていった「プライド」や「モラル」を取り戻すことは絶望的なことなのかも知れません。

もっとも弱肉強食が自然界の掟だと言われればそれまでですが、「人間らしさ」とはそれらの自然の掟から最も遠いところにあるものではなかったのでしょうか?

ここ10年あまりほぼ月1回のペースで秋葉原の電気製品の価格動向をこの目で見てきましたが(安くてもいいものを探してたともいう(^^;)),結論として安くても本当にいいものは存在しない幻だということです。

訳ありの品を、その訳を承知でその訳に目をつむって使用すれば、確かに買い得なものはそれなりにころがってはいませんが、1つのものを長く大事に使おうとすれば(これぞ美しき日本の神髄の一つだと思いますが)それなりの値段はかけざるを得ないのではないのでしょうか?